

おもいやり通信

発行：社会福祉法人 清水保育園
 幼保連携型認定こども園 清水こども園
 発行日：令和5年2月25日

第46号



早いものでもうすぐ3月。今のクラスで過ごすのもあと4週間を残すのみです。ほとんどの子が、自分の身のまわりのことはできるようになってきています。保育者が集団あそびに誘うと、みんなで楽しめるようにもなりました。お手伝いも喜んでしてくれます。「できたね」「じょうず」「ありがとう」と、一人ひとりを認める言葉が多くなって楽しい毎日です。この一年間の成長をご家庭でも感じられていることでしょう。

園では今年度も思いやり集会、良いところさがし、思いやり通信発行等「思いやり活動」を積極的に行っていきます。保護者の皆様にも色々ご協力いただきありがとうございます。

思いやり3原則『手伝う、励ます、ありがとう』の実践は世界を幸せにする魔法です。

相手の気持ちを察し、さりげなく手伝い、励まし、感謝することが出来る、そんな素敵な子どもたちに育って行ってほしいと願っています。



今年度の思いやりテーマ

<よいところさがし 完結！>

今年度は、保護者の皆様の協力をいただきながら、6・9・2月の年3回「お子さんの良いところ」「清水こども園の良いところ」等をいっぱい見つけて、カードに記入して提出してしてもらった活動を行いました。

おかげさまで、沢山の良いところを発見することができました。

日頃、私たちはどうしても人の悪いところに目が向きがちですが、少し視点を変えると良いところが沢山見えてきますね。子どもたちともそのような視点で向き合っていきます。

集まったカードは、年度末に卒園アルバムや思い出制作に活用して、各家庭にお戻し致します。

楽しみにしててください。

ニコニコおしゃべり歌をうたって
 みんなを和ませてくれるところ。
 「おはよう」「いただきます」
 元気におしゃべりする
 ところ

よく食べ、よく寝てすくすくと
 育ちました！毎日笑顔で、
 家族みんなを癒して
 くれます♡

最近、夜ごはんの準備の
 お手伝いをしてもらうように
 しました！そーと食器を
 はこんでくれて助けて
 くれてありがとう！！

おはよう、先生、あそびが
 大好きなところ😊
 やさしいえがおが
 わかるところ😊

大好きなたこさん
 伝えてくれるところ。

カードの一部紹介

令和4年度 第3回思いやり集会を開催

新作！ 思いやりカルタがデビュー

令和5年2月13日（月）に今年度3回目の思いやり集会を行いました。今回は、思いやりテーマソング「おもいやりのうた」の静聴の後、園長先生の話、各クラスから思いやり行動の発表、最後に今年新たに完成した「思いやりカルタ」を使ってカルタ大会を行いました。

これからも思いやり三原則「手伝う、励ます、ありがとう」が自然に行えるよう思いやり保育に取り組んでいきますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。



<おもいやりテーマ>「よいところさがし」

年間を通して実践していきましょう

思いやり3原則（手伝う・励ます・ありがとう）

- ①手伝う（他の人のために 喜んで手伝おう）
- ②励ます（元気づけよう、応援しよう、優しい心を送ろう）
- ③ありがとう（感謝の心で ありがとうを伝えよう）



思いやりを身に付け、伸ばすには

思いやりはどうやって身につけるの!?

時代は日々大きく変化していますよね。

そして今の時代は、学力や記憶力、IQ と呼ばれる認知能力よりも、非認知能力が求められる時代になってきています。非認知能力とは、思いやりや社交性、協調性が含まれます。

この心こそが子ども達の幸せに繋がるという説が大切にされています。



思いやりの心はどうしたら伸びるの??

『履き物を脱いだら揃えられるようにする』

『席を立ったら椅子を入れるようにする』

たったこれだけの事です。なぜこの二つが思いやりに繋がるのか…それは、

「未来（先）の事を想像出来る様になるから」なのです。

子どもたちは目の前の事に全力で取り組む事が多く、未来の事を想像して行動するのは案外難しいものです。

例えば、履き物を揃える時、このように声かけを試みるのはどうでしょう？

「〇〇くん、玄関に靴を脱ぎっぱなしにすると、次に入ってくる人はどう思うかな？もし、〇〇くんが、お家に帰ってきた時に、靴がバラバラに散らかっていたら嫌だよ。なんか気持ち悪いし、自分の靴をどこに置けば良いかわからないよね。だから次にくる人の為にも靴をしっかりと揃えて綺麗に置こうね。」と、“次に来る人（未来）”に想いを馳せる習慣をつける事が大切です。その上で「〇〇くんが綺麗に靴を揃えてくれているから、お母さんも、お父さんも靴を置きやすく助かるよ！」と言葉にして伝える事で、具体的なイメージとして脳に焼き付きます。人間は元々、人の役に立つ事を好むので、イメージまでしっかりできた子は、自然と履き物を揃える事や、椅子を入れる事が習慣になると思います。

少し話は逸れますが、子どもに対して何かを伝える時に、言葉だけでなく、イメージも連動させる事がとても大切です。子ども達は、経験や知識が大人よりも少ないため、言葉だけを聞いてもイメージと結びつかない事が多々あります。その事を理解し接する事で、保護者の皆さんのストレスも、子どもたちの自尊心も傷つける事を回避できます。

また、これだけでなく、『靴を揃える』『椅子を入れる』事には他にもメリットがあります。

それは、『自制心が養われる』ということです。靴を揃える、椅子を入れる行動は「締め・後始末をつける」事です。つまり、自分を律する事が出来るようになります。自制心を身につける時に我慢させる事ばかりに目が行きがちですが、「靴を揃える」基本の所作を徹底するだけでも、自制心に繋がっていくのです。この締まりの良さは、『生活の締め』『心の締め』『金の締め』『時の締め』『礼の締め』『物の締め』『場の締め』に繋がります。そして自分の履き物だけでなく、他の人の履き物も揃える事が出来たら、素晴らしい事です。これは自主性（やらなければいけない事）から主体性（目的を持って自ら行うこと）へとレベルアップしたと言える素晴らしい行動なのです！日々の生活の何気ない出来事に少し目を向けてみると思いやりの芽がたくさん出ているかもしれませんね。

「おもいやりの樹」を大きく育てよう!

おもいやり3原則

てつだう

ありがとう

はげます

